６月度土曜例会　（2017.06.17）

ＷｏｒｋＳｈｏｐ ２０１７

ＩＩＮビッグイベントのひとつ、恒例のWORKSHOPが今年も盛大に開催されました。
IINメンバー38名　・　フレッシュな大学生が3名　・　お手前のアシストに1名
それに加えて、なんと、１４ケ国の24名のゲストの方々が参加したのです。

- ＪＩＣＡ研修員（長期滞在）　８　名　（　京阪神各所に滞在　）
- ＪＩＣＡ研修員（短期滞在）　９　名　（　京都のホテルに滞在　）
- 留学生　７　名　（　立命館大学、大阪大学　）

合せて、６６名　！　それはそれは活気に満ちたものでした。
今回初めてこのイベントに参加した国の人は、
　セネガル、ウクライナ、マセドニア、アルジェリア、ジンバブエ　の方達
過去参加国の全てのゲストにあなたの国で“花”は何と言いますか？と訊ねて纏まった成果は
　34カ国にもなりました。
今回5カ国が加わりアフリカ10カ国、アジアは広範囲に17カ国です。
　延べ人員では何人になるのでしょう？
それだけ多くの世界中の人たちとの交流がこのWORKSHOPを通じて成されているのです。

- **準備の風景**
  - 書道（ calligraphy ）

寺子屋の開設準備　静謐な雰囲気に撮影班も、心が洗われる。

  - 着物の着付け（ Kimono dressing ）

撮影班は、なかなか入り込めない。

なので、写真は１枚、外側から

- 花札（ Floral playing cards ）

親分衆、姉さん達が準備に余念がない。

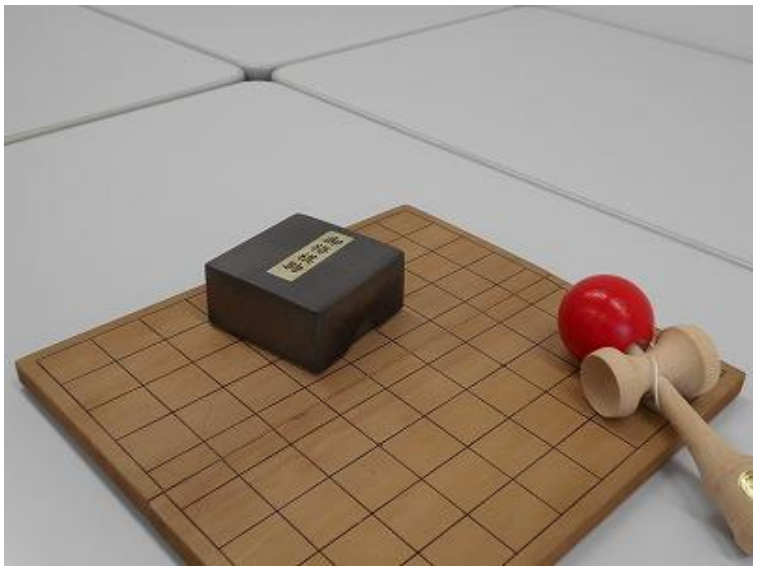
予行演習が始まり、気分が次第に高揚する ！

撮影班も緊張する。

本日は、寺子屋の近くでの御開帳。

- 日本の玩具あれこれ　（ Japanese toys ）

おやッ！　親分さん？　このような処で、油を売っていて宜しいんですかい　？



- 出迎え

ローズWAM前でお出迎え

ALGERIA
ZIMBABWE
SENEGAL
UKRAINE
MACEDONIA
CAMBODIA
PHILIPPINES
INDONESIA
LAOS　　皆、若い！。好奇心一杯の表情。

Nさん・Uさんの案内で会場へ。（暑い日の出迎え、ご苦労様）

- 本日のイベントの説明、グループ分け

委員長より挨拶

- スタッフの紹介
- 用意したイベントの紹介
  - イベント１：着物、ゆかたの着付け
  - イベント２：お茶席
  - イベント３：書道
  - イベント４：花札
  - イベント５：日本の玩具で遊ぶ
- 数点のお約束事
  - 写真は、カメラマンにお任せして各自は控えるように
  - イベント進行に格別のご協力を願う
- ゲストのグループ分け
  Ａ１，Ａ２，Ｂ１，Ｂ２

いよいよ、WorkShopの開始です。

- イベント１　着物、ゆかたの着付け

ゲストの人数が24名にもなり、予定時間内で着付けるために、A1,A2,B1,B2の４グループに分け、
男性を着せている間に女性達には
Ｔさん作成の＜まんが入りの説明ポスター＞を示し、着付け前の下準備を出来るだけ自分でして頂くようお願いしました。
勿論、お手伝いの人達の手助けは必要でしたが・・・

着物グループの
- 毎月、行ってきた着付けのお稽古
- 女性に半襦袢を着せたり、
  着付けをきれいに見せる努力
- 着物セットの事前準備・運び込み

なにより
- 着物グループの皆様の団結と協力

で、時間通りスムーズに進行出来ました。

ゲストの方達は、
振り袖のモデルさんと一緒に写真に納まったりして、とても喜んで頂けました。

その様子を見て、私達も
　喜びを共有出来、遣り甲斐がありました。

本当に良かったッ

- イベント２　お茶席

ゲストの方々には茶道ワークショップに参加前に少し事前学習があります。
女性の着物着付け中、着付け済の男性方に、
お茶の飲み方と挨拶を練習してもらいました。

その後、
男女揃ってお茶席での正座？です。
まずは、
茶道の簡単な歴史と基本精神を表す
「和敬清寂」の説明です
次に、
一人一人にお菓子が運ばれ、そのお菓子の説明に盛り上がりました。
いよいよお手前が始まり皆様熱心に見ておられました。

半東（亭主の補助役をつとめる者）として、季節のお花、お軸、「和敬清寂」がどのように生かされているかの説明を加えました。

お茶の頂き方は、練習のお陰で日本語での挨拶も上出来でした。

Q&Aもあり、皆さん日本の茶道という伝統文化を楽しんでいただいたようです。

- イベント３　書道

文字の歴史、書体の説明
（平仮名、カタ仮名、漢字）から始まった。
日本語の文字の種類・書体の多さに驚いた事だろう。
墨を擂ることから始めたいのですが、時間節約のため墨汁を使う事に。

ゲストに好きな文字を選んでもらいました。
〝友〟、〝愛〟、〝和〟、〝天〟、〝川〟、中には〝母〟を選んだ人も。
（〝川〟という文字は簡単そうに見えて、
本当は難しいんだぞ）
それぞれの思いが籠った選択でした。

さて、いよいよ実践。書く内に変形する筆先、途中で墨を含ませるという事に戸惑いを見せる。

何度も書き直し、その都度
No! No! No!.　とインストラクター
Ah!　とゲスト
Oh No!
Wait a minutes!
Try again.　にぎやかな事。

色紙に清書
Take a deep breath, and start writing.
.....Perfect !？

- イベント４　カードゲーム（花札）

花札カードの種類、
ルールの説明、
点数の数え方、
難しい説明をゲストは理解出来た様子！

さて、

いよいよゲーム開始。
座布団の上に、手持ちの花札を見せて、
裏返している花札をめくる。
皆さん、目つきが変わってきた！、
説明者が興奮してきた。

Wow!
How many points？
Who’s winner？

真に、騒がしい　！

見よッ、この目つきを。

- イベント５：日本の玩具で遊ぶ

ニンテンドー、
スマホゲームが人気の今日、
古き良き時代のお遊びを紹介。

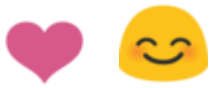
盛り上がりは、想像以上　！！！

中でも、だるま落としは殊の外の盛況！
まぁ、ご覧あれ。

- 参加者からのメッセージ

Hello,
My name is G T from Indonesia. I really enjoyed the workshop!
Thank you so much for preparing all of that.

Everyone there was really kind. Although I came late they still gave me chances to try 書道 and think of ways for me to participate in each activity.



Reallyyyyyy thank you so much! I had a great time.

I just wish I could talk more with the Japanese students that came here.
It would be really great if I could have the pictures too :)　Best regards,　G T

先週、茨木市のワークショップに参加させてもらいました。
茨木市が開催するワークショップに参加するのは今回で3回目でしたが,久しぶりに実行委員会の皆さんに出会って嬉しかったです。

これは茨木市に住んでいる日本人と大阪や大阪付近の外国人がお互いに交流活動を行う出来事です。参加者は国籍を問わず積極的な姿勢で日本の文化や風習の話に耳を傾けました。長い間日本に滞在してきた人であれ、来日したばかりの人であれ、皆さんワクワクしながら日本の文化を体験しました。

私は半年以上日本にいるものの、実際にこのようなワークショップに出る機会があまり多くないです。それで参加すると、日本文化に対する好奇心が強くなってきます。

茶道は日本の代表的な文化のひとつとして世界的に有名ですが、茶道がいつ生まれたのか、どのように楽しめばいいのかという疑惑を抱いている人が少なくないでしょう。
そのため、茶道の先生が抹茶をたてると私は先生の行動の細かいところまで気を配りました。

さすが日本人だけあって礼儀正しく作業を丁寧に行いました。抹茶の味はもちろん、その飲み方も面白かったです。
茶道は長い歴史を誇る伝統文化なのでその楽しみ方は普通の飲料水の飲み方と全く異なります。お茶をもらうときに両手で茶碗を丁寧に受け取り、二回、回さなければなりません。

ここで注意しなければならないのは茶碗の柄が相手のまえに向くことです。
また、相手への尊敬の気持ちやお礼を表すために決まった言葉を言わなければなりません。

飲み終わった後もう一度茶碗全体を見てお礼の言葉を言うことになっています。和室で抹茶を楽しみながら先生の話を聞いたり回りの人と一緒にしゃべるのはすごく楽しかったです。

茶道以外、書道や日本の伝統的な遊びを教えてもらいました。書道は簡単だろうと思っていましたが意外にも難しかったです。いつ筆を強く押すのか、いつ緩めるのか、工夫をこらさないと綺麗な字がかけないと思います。練習を重ねた上できちんと本当の作品を作りました。もちろん、手本となった先生の作品と比べると、私の字はまだ劣っていますが記念に持って友達や国の両親に見せたいと思います。

たった2時間で日本の文化を体験しましたが、今回のワークショップで身に付けたものは一生忘れられないと思います。皆さんにあたたかく歓迎していただいて、誠にありがとうございました。
BINH_

- IINに薫風！初めて参加してくれた大学生の感想です。

友達が誘ってくれたので参加しました。私は英語が好きですが全然話せないので少し不安でした。でも周りの人たちのおかげで、少しは留学生や JICAの方々のサポートができたと思います。とてもいい経験になったし、英語を勉強するモチベーションが上がりました。ありがとうございました。（F.H）

短い時間でしたが、様々な日本文化を体験していただき、とても楽しんでおられたようで良かったです。自分自身も日本の伝統文化について知らないことだらけだったのでこの機会に勉強したいなと思いました。(S.K)

- 今回初めて参加のIINメンバーから

5月に入ったばかりなので、何もわからずでしたが、水屋のお仕事の間に、
今までの、会の歩み等教えていただいて、ありがたかったです。（T.K）

- 実行リーダから

今年も書道、カードゲーム、着付け、茶道と４つの部門を楽しんで頂きました。
お客様は総勢２４人！　その数が判明した時は嬉しい悲鳴でした。
この限られた空間でどのように楽しんで頂けるか？　皆、夫々の部門で協議、検討、練習を重ね、
周到に準備を進めました。お蔭で会の進行はとてもスムーズで穏やかなものとなりました。
お客さまの笑顔が弾ける一方、真剣なまなざし、神妙な面持も印象的でした。
最後に、日本の伝統的玩具を使って、お遊び交流の時間も持つことができ、志願者続出の盛り上がりを見せて閉会となりました。ＩＩＮ会員も年を経る毎に、おもてなしの技が輝きを増し、
国際交流の醍醐味を満喫できた一日でした。

「　一隅を照らす　」伝教大使（最澄）　この言葉はＩＩＮに相応しい。

この行為を支えてきました会員の皆様に、敬意を表します。
いつの日か、この若者達が、地球の何処かで、一隅を照らすに違いありません。